

2024年12月17日

記者會、記者クラブ 各位

高大連携実衛星プログラム「ぎふハイスクールサット(GHS)」の フライトモデルの JAXA への引き渡しが完了しました！

～岐阜の高校生が主体となって開発した衛星が宇宙へ～

岐阜大学と岐阜県が共同で進める「ぎふ宇宙プロジェクト研究会(座長:吉田学長)」の高大連携宇宙人材育成事業において、県内の工業高校生と岐阜大学生・院生が協力し製作を進めてきた高大連携実衛星プログラム「ぎふハイスクールサット(GHS)」のフライトモデルが、12月4日、JAXA(宇宙航空研究開発機構)の筑波宇宙センターで正式に引き渡されました。

GHS は、岐阜県内の高校生が主体となり、大学生・院生、岐阜大学の研究者が技術面をサポートしながら開発を進めてきた全国でも先進的なプログラムです。今回引き渡されたGHSのフライトモデルは、JAXAの安全審査に合格しており、2025年4月上旬にNASA(アメリカ航空宇宙局)を通じてSpace X社のファルコン9ロケットで打ち上げられるドラゴン宇宙船によって国際宇宙ステーション(ISS)に運ばれます。そして、同年5月中にはISSから高度約400kmの軌道上に放出され、地球の撮影や、リトアニア、オーストラリアの高校生とGHSからの電波受信により軌道を推定する等の演習を行う予定です。

先日、11月17日に岐阜大学で開催された国民文化祭の特別シンポジウムでは、GHSチームの高校生が製作プロセス等を紹介し、JAXAや宇宙関係企業の研究者から、「想像以上のしっかりした設計・製作プロセスが行われている」と高い評価を受けています。

なお、岐阜大学長・岐阜県知事のサインが記されたフライトモデルは、今回のJAXAへの引き渡しをもってチームの手を離れ、今後は打ち上げに向けた準備段階に入ります。

この度、GHSチームの高校生・大学生・院生が、JAXAへの引き渡し証、モデル機を持って学長を訪問し、引き渡し完了報告を行いますので、取材方よろしくお願いたします。

記

日時：2024年12月23日(月) 15:00~15:30

場所：岐阜大学 本部棟3階 学長室(3階廊下にお集まりください)

報告者：「ぎふハイスクールサット(GHS)」プロジェクトチーム

岐阜県立岐阜工業高校 教員・生徒

岐阜県立大垣工業高校 教員・生徒

岐阜大学大学院自然科学技術研究科 院生・工学部4年生

岐阜大学工学部附属宇宙研究利用推進センター 教員

本件は「ぎふのミ・ラ・イ・エ」構想のうち下記を推進するものです。



「ぎふのミ・ラ・イ・エ」構想:

https://www.gifu-u.ac.jp/about/aims/gifu_miraie.html

岐阜大学は国立大学法人東海国立大学機構が運営する国立大学です。

東海国立大学機構 HP: <https://www.thers.ac.jp/>

問い合わせ先

岐阜大学 総務部広報課広報グループ
TEL:058-293-2009
E-mail:kohositu@t.gifu-u.ac.jp